

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	武雄看護学校
設置者名	一般社団法人 武雄杵島地区医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護科	夜・通信	68 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

実務経験のある教員のシラバスは、学生及び一般の希望者が自由に閲覧できるよう教務室内に設置している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	武雄看護学校
設置者名	一般社団法人 武雄杵島地区医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	<p>教員が学校の教育活動について自己評価を行い、自己評価の結果について学校長が選任した5名の学校関係者評価委員が①～③の視点で評価を行う。</p> <p>①自己評価の結果について妥当性を評価する。</p> <p>②自己評価を踏まえた今後の改善策は適切かどうか。</p> <p>③学校運営の改善に向けた実際の取り組みは適切か。</p> <p>委員会により取りまとめられた評価結果及び今後の改善策等については、ホームページにて公表している。また、次年度の教育計画設定や学生指導に活用し取り組みを行う。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
医師（診療所院長）	2年間 令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	元学校担当理事 (平成30年6月～令和1年5月)
医師（病院副院長）	2年間 令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	元学校担当理事・元武雄杵島地区医師会 副会長 (平成30年6月～令和1年5月)
教諭（県立中学校）	2年間 令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	佐賀県高等学校の校長を歴任。現在、武 雄市内の県立中学校の教諭である。
看護師（病院 総看護師長）	2年間 令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生(平成3年3月卒業)
看護師（病院）	2年間 令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生(平成27年3月卒業)
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	武雄看護学校
設置者名	一般社団法人 武雄杵島地区医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1) シラバスの作成について</p> <p>①分野・科目名・単位(時間)・開講時期・講師名(時間・所属)・方法・目標・講義内容・年間計画・テキスト・評価方法・実務教員の授業の概要を必要事項とし作成している。</p> <p>②シラバスは、テスト(評価)ごとに作成している。</p> <p>③シラバスは、科目担当者の変更や教科書の改訂に合わせて、その都度見直しを行い、必要な内容が教授できるよう改善を図っている。10月に担当領域ごとに担当者会議を開き、次年度の講義について講義内容と方法の検討を行う。2月に次年度のシラバスを完成する。</p> <p>2) 公表に関わる取り組み</p> <p>①シラバスは学校ホームページに掲載し、学生は随時内容の確認を行う。</p> <p>②シラバスの用い方については、入学オリエンテーションで説明を行う。また、各授業開始の際、担当教員から学習目標、授業の進行、評価について具体的な説明を行う。</p> <p>③全科目のシラバスは、実務経験のある教員間で確認を行い、他の科目との関連性や強化が必要な内容について説明を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>①ホームページ上のシラバスについて使用目的を説明する。https://www.takeo-ns.net/syllabus/</p> <p>②一般の希望者に対しては、ホームページ上でのシラバスについて閲覧を案内する。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>①学科試験(筆記、口頭、レポート、実技試験)による学修成果の評価を行う。</p> <p>②成績の評価は、点数をもってあらし、100点をもって満点、60点を以て合格、60点未満を不合格とする。</p> <p>③学科試験が不合格の場合は、再試験(原則1回)を受けることができる。</p> <p>④やむをえない理由により学科試験を受けることができなかった場合には、追試験を受けることができる。</p> <p>⑤単位は、必要な時間(授業時間の3分の2以上の出席)の履修と学科試験の結果をもとに、学年終了時期に単位認定会議にて認定を行う。</p> <p>⑥科目評価はA(80点以上)、B(70点~79点)、C(60点~69点)、D(60点未満)とし、D(60点未満)を不合格としている。</p> <p>上記のあらかじめ設定した成績評価の方法及び基準で、厳格かつ適正に履修認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>①あらかじめ設定した算出方法で成績分布を示している。</p> <p>②算出方法は、履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を割り出す。</p> <p>③算出した成績は、～59点、60～69点、70～79点、80～89点、90～99点、100点の指標数値ごとに人数を記載し分布図を作成する。</p> <p>④分布表は、単位認定が終了後、学校掲示板で学生に提示する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>①学生便覧にて客観的指標の算出方法について掲載している。</p> <p>②一般の希望者に対しては、学校教務室で学生便覧を用いて客観的指標の算出方法について公表を行っている。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業時に臨む姿として以下に示す内容を示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の尊さについて、人間の尊重を基盤とし、倫理観を持って行動できる 2. 人間に関心を持ち、共感的態度に基づいた看護ができる 3. 人間を身体的・精神的・社会的・霊的側面から総合的に理解することができる 4. 科学的・論理的な思考ができ、問題解決能力を高めることができる 5. あらゆる健康レベルを理解し、健康上のニーズに対応することができる 6. 看護専門職者としての知識・技術・態度を習得できる 7. 保健・医療・福祉チームの一員として、看護師の役割・機能を理解できる 8. 他職種との連携の必要性を理解し協働することができる 9. 地域医療の中で看護師として貢献できる 10. 専門職業人として向上心を持ち続け、生涯学習する必要性が理解できる 11. 建設的・創造的な考えができる 12. 継続的に学習を進めることで自己の看護観を明確にすることができる <p>卒業時に臨む姿として授業科目の76単位修得の認定を受けたものについて卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧にて卒業の認定に関する方針について掲載している。一般の閲覧希望者には、学校教務室で学生便覧にて卒業の認定に関する方針について公表を行っている。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	武雄看護学校
設置者名	一般社団法人 武雄杵島地区医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。
収支計算書又は損益計算書	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。
財産目録	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。
事業報告書	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。
監事による監査報告（書）	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。

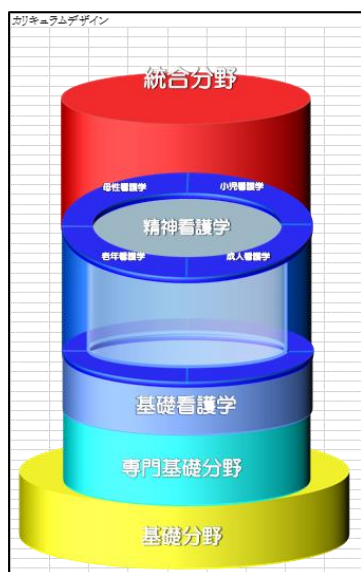
2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼 (定時制)	76 単位時間/単位	60 単位 時間/単位	単位時間 /単位	16 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			76 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		99 人	0 人	7 人	52 人	59 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）



授業方法及び内容

基礎分野では、「豊かな感性や教養を備えた人間性の育成」を目指し、看護を学ぶ上で基礎となる領域を学習する。

専門基礎分野では、医療に関わる専門職業人として看護を学ぶ上での基盤となる領域を学習する。

専門分野Ⅰでは専門分野Ⅱ及び統合分野の基礎となる基礎看護学を学習する。

専門分野Ⅱでは、看護の専門的な知識を学習することを目的としている。成人、老年、小児、母性、精神の領域を学習する内容としている。

統合分野では、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱで学習した内容の知識や技術を統合し、看護基礎教育の集大成として位置付けている。

授業方法は、講義、演習、実習に分類している。教育内容から判断し効果的に学習に取り組めるよう授業方法の選択を行っている。

年間の授業計画

	前期	後期
1年次	375時間	466時間
2年次	448時間	543時間
3年次	553時間	375時間

成績評価の基準・方法

(概要)

- ①学科試験(筆記、口頭、レポート、実技試験)による学修成果の評価を行う。
- ②成績の評価は、点数をもってあらし、100点をもって満点、60点を以て合格、60点未満を不合格とする。
- ③科目評価はA(80点以上)、B(70点~79点)、C(60点~69点)、D(60点未満)とし、D(60点未満)を不合格とする。

卒業・進級の認定基準

(概要)

3年以上在学し、学則に定める76単位の単位修得の認定を受けたものについて、卒業認定会議により卒業認定をする。

卒業要件	分野	単位	時間	合計 (単位/時間)
	基礎分野	9単位	240時間	76単位 (2184時間)
	専門基礎分野	16単位	324時間	
	専門分野Ⅰ	8単位	300時間	
	専門分野Ⅱ	31単位	909時間	
	統合分野	12単位	411時間	

学修支援等

(概要)

- ①学業及び技術の習得について、個別指導を行い単位の修得について支援を行っている。また、看護師国家試験に向けた学習に関しては、特別講義の実施と個別指導により学習支援をしている。
- ②専門実践給付金、日本学生支援機構、高等技能訓練促進費、学校独自の特待生制度により学費による負担の軽減について支援を行っている。
- ③カウンセリング(2回/月)を導入し、精神面での不安定さが生じている学生やメンタルトレーニングの必要な学生について支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	20人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

病院、医院

(就職指導内容)

医療機関からの求人情報を閲覧希望者には、随時提示を行っている。
また、就職に関する相談も随時対応している。

(主な学修成果(資格・検定等))

看護師免許取得

大学編入学可能(3年次)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
令和3年度 96人	3人	3.1%
(中途退学の主な理由) 家庭の都合による・病気療養による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不良者に対しては、学習計画から疑問点の解決等、個人指導に取り組んでいる。 個人面談により問題が生じていることへ対応している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
看護科	180,000円	342,000円	351,000円	教科書代、施設整備金等
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
特待生制度 1年次の成績等で評価し、次年次に授業料半額免除者2名、1/4免除者2名を決定する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「学校評価自己点検・自己評価報告」は、2022年度からホームページへ掲載する。また、学校掲示板に掲示し自由に閲覧可能とする。 https://www.takeo-ns.net/guide.html
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
(1)実施方法 ①学校長は自己評価の結果を、本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し意見を聞き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。 自己評価項目は、Ⅰ教育理念・目的、Ⅱ目標、Ⅲ教育課程・経営、Ⅳ教授・学習・評価過程、Ⅴ経営・管理課程、Ⅵ入学、Ⅶ卒業・就業・進学、Ⅷ地域社会・国際交流、Ⅸ研究とする。 ②関係者委員は、自己評価の結果について評価し妥当性を確認する。また、自己評価の内容をもとに学校運営・教育活動について助言及び提案を行う。
(2)関係者委員会の構成 関連業界等関係者2名・卒業生2名・学校長が必要と認める人物 (委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。)
(3)学校関係者評価の評価結果について 学校長は、関係者委員会による評価結果をまとめ、報告書を作成する。
(4)学校関係者評価結果の活用

教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
病院 副院長 (武雄杵島地区医師会理事)	2年間 令和3年4月～令和5年3月	医師
診療所 院長 (武雄杵島地区医師会理事)	2年間 令和3年4月～令和5年3月	医師
中学校 教諭 (佐賀県立中学校)	2年間 令和3年4月～令和5年3月	教諭
病院 看護総師長 (武雄看護学校卒業生)	2年間 令和3年4月～令和5年3月	看護師
病院 看護師 (武雄看護学校卒業生)	2年間 令和3年4月～令和5年3月	看護師
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2022年度よりホームページに掲載を行う。 ホームページアドレス https://www.takeo-ns.net HP内の『学校案内』タブメニューに掲載		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.takeo-ns.net
--